

# 自己評価票

自己評価は全部で100項目あります。

これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。

項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目（例えば、下記項目の や 等）から始めて下さい。

自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。

自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

## 地域密着型サービスの自己評価項目構成

|                           | 項目数 |
|---------------------------|-----|
| .理念に基づく運営                 | 22  |
| 1.理念の共有                   | 3   |
| 2.地域との支えあい                | 3   |
| 3.理念を実践するための制度の理解と活用      | 5   |
| 4.理念を実践するための体制            | 7   |
| 5.人材の育成と支援                | 4   |
| .安心と信頼に向けた関係づくりと支援        | 10  |
| 1.相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応  | 4   |
| 2.新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援  | 6   |
| .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | 17  |
| 1.一人ひとりの把握                | 3   |
| 2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作  | 3   |
| 3.多機能性を活かした柔軟な支援          | 1   |
| 4.本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協 | 10  |
| .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援    | 38  |
| 1.その人らしい暮らしの支援            | 30  |
| 2.その人らしい暮らしを支える生活環境づくり    | 8   |
| .サービスの成果に関する項目            | 13  |
| 合計                        | 100 |

## 記入方法

### 【取り組みの事実】

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。（実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入）

### 【取り組んでいきたい項目】

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に をつけます。

### 【取り組んでいきたい内容】

「取り組んでいきたい項目」で をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容、事実があれば、それを含めて記入します。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】（アウトカム項目の後にある欄です）

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

## 用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家 族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

## 評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目（1から 87）とサービスの成果（アウトカム）の項目（88から 100）の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようにご注意ください。

|                 |            |
|-----------------|------------|
| 事業所名            | グループホーム恵の里 |
| （ユニット名）         | B 棟        |
| 所在地<br>（県・市町村名） | 秋田県潟上市     |
| 記入者名<br>（管理者）   | 工藤 宣子      |
| 記入日             | 平成20年11月5日 |

**自己評価票 B 棟**

| 項 目               | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------|---|-----------------------|--------------------------------|
| <b>.理念に基づく運営</b>  |   |                       |                                |
| <b>1.理念と共有</b>    |   |                       |                                |
| 1                 | 地域密着型サービスとしての理念<br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている           | A棟と共有                 | ○<br>A棟と共有                     |
| 2                 | 理念の共有と日々の取り組み<br>運営者と管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる                          | A棟と共有                 |                                |
| 3                 | 家族や地域への理念の浸透<br>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる      | A棟と共有                 | ○<br>A棟と共有                     |
| <b>2.地域との支えあい</b> |   |                       |                                |
| 4                 | 隣近所とのつきあい<br>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている      | A棟と共有                 | ○<br>A棟と共有                     |
| 5                 | 地域とのつきあい<br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている        | A棟と共有                 | ○<br>A棟と共有                     |
| 6                 | 事業所の力を活かした地域貢献<br>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる | A棟と共有                 | ○<br>A棟と共有                     |

| 項 目                         | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |       |
|-----------------------------|---|-----------------------|--------------------------------|-------|
| <b>3.理念を実践するための制度の理解と活用</b> |   |                       |                                |       |
| 7                           | <p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>                         | A棟と共有                 | ○                              | A棟と共有 |
| 8                           | <p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>         | A棟と共有                 |                                |       |
| 9                           | <p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>                          | A棟と共有                 |                                |       |
| 10                          | <p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p> | A棟と共有                 | ○                              | A棟と共有 |
| 11                          | <p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている</p>           | A棟と共有                 | ○                              | A棟と共有 |
| <b>4.理念を実践するための体制</b>       |   |                       |                                |       |
| 12                          | <p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>                            | A棟と共有                 | ○                              | A棟と共有 |

| 項 目 |   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | 印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|-----|---|--|-----------------------|--------------------------------|
| 13  | 運営に関する利用者意見の反映<br>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                                | A棟と共有  | ○                     | A棟と共有                          |
| 14  | 家族等への報告<br>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている                              | A棟と共有  |                       |                                |
| 15  | 運営に関する家族等意見の反映<br>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                                | A棟と共有  | ○                     | A棟と共有                          |
| 16  | 運営に関する職員意見の反映<br>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている  | A棟と共有  |                       |                                |
| 17  | 柔軟な対応に向けた勤務調整<br>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている                      | 利用者のレベル低下に伴い介助者が多くなったこと午後から不穏となる利用者が多いので日勤を出来るだけ2名体制を取るなど話し合いをしてその状況に応じている | ○                     | 車椅子使用者2名、全介助者3名のため             |
| 18  | 職員の異動等による影響への配慮<br>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | A棟と共有  |                       |                                |

| 項 目                             |   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                       | 印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|---------------------------------|---|---|-----------------------|--------------------------------|
| <b>5.人材の育成と支援</b>               |   |   |                       |                                |
| 19                              | <p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、運営者自身や管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>           | A棟と共有   |                       |                                |
| 20                              | <p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、運営者自身や管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p> | A棟と共有   | ○                     | A棟と共有                          |
| 21                              | <p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>  | 事務室内にて交替で休憩を取れるようにしている勤務についても希望を取り入れ休日が取りやすいように配慮している | ○                     | A棟と共有                          |
| 22                              | <p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>                              | A棟と共有   | ○                     | A棟と共有                          |
| <b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>        |   |   |                       |                                |
| <b>1.相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b> |   |   |                       |                                |
| 23                              | <p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>                   | 入居前に事前調査にて本人及び家族から生活歴など把握しホームでの生活に生かせるように努めている        | ○                     | 一部センター方式を取り入れている               |

| 項 目                             |   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                          | 印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)      |
|---------------------------------|---|--|-----------------------|-------------------------------------|
| 24                              | <p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>                            | <p>家族からの聞き取りが大変大事で家族の思いを十分に聞き取り家族の不安を少しでも取り除く様に努めている</p> |                       |                                     |
| 25                              | <p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>                                    | A棟と共有  |                       |                                     |
| 26                              | <p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう本人又は家族等と相談しながら工夫している</p> | A棟と共有  |                       |                                     |
| <b>2.新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b> |   |  |                       |                                     |
| 27                              | <p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>                            | <p>利用者の状態に合わせて一緒に料理や洗濯等を行い「お願いする、頼りにする」という立場を取っている、</p>  | ○                     | <p>利用者にオルガンを弾いて頂き職員も一緒に歌い楽しんで居る</p> |
| 28                              | <p>本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている</p>                                      | A棟と共有  |                       |                                     |

| 項 目                              |   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                              | 印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|---|--|-----------------------|--------------------------------|
| 29                               | 本人と家族のよりよい関係に向けた支援<br><br>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している             | A棟と共有  |                       |                                |
| 30                               | 馴染みの人や場との関係継続の支援<br><br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている               | 利用者の訴えに応じて居室で先祖供養の支援、馴染みの理美容室、商店へ外出の支援、知人への手紙のやりとりの支援など行っている | ○                     | A棟と共有                          |
| 31                               | 利用者同士の関係の支援<br><br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている              | A棟と共有  | ○                     | A棟と共有                          |
| 32                               | 関係を断ち切らない取り組み<br><br>サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | A棟と共有  |                       | A棟と共有                          |
| <b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |   |  |                       |                                |
| <b>1.一人ひとりの把握</b>                |   |  |                       |                                |
| 33                               | 思いや意向の把握<br><br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している                   | A棟と共有  |                       |                                |

| 項 目                                  |  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容) | 印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|--|---------------------------------|-----------------------|--------------------------------|
| 34                                   | これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、生きがい、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                               | A棟と共有                           | ○                     | A棟と共有                          |
| 35                                   | 暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている  | A棟と共有                           |                       |                                |
| <b>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b> |  |                                 |                       |                                |
| 36                                   | チームでつくる利用者本位の介護計画<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している     | A棟と共有                           |                       |                                |
| 37                                   | 現状に即した介護計画の見直し<br>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | A棟と共有                           |                       |                                |
| 38                                   | 個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                         | A棟と共有                           |                       |                                |
| <b>3.多機能性を活かした柔軟な支援</b>              |  |                                 |                       |                                |
| 39                                   | 事業所の多機能性を活かした支援<br>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている                                   | A棟と共有                           |                       |                                |



| 項 目                               | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | 印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |       |
|-----------------------------------|--|-----------------------|--------------------------------|-------|
| <b>4.本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b> |  |                       |                                |       |
| 40                                | <p>地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関、医療機関等と協力しながら支援している</p>  | A棟と共有                 | ○                              | A棟と共有 |
| 41                                | <p>他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>                                      | A棟と共有                 | ○                              | A棟と共有 |
| 42                                | <p>地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>                                     | A棟と共有                 |                                |       |
| 43                                | <p>かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p> | A棟と共有                 |                                |       |
| 44                                | <p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>                                   | A棟と共有                 |                                |       |

| 項 目 |   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)             | 印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|-----|---|---|-----------------------|--------------------------------|
| 45  | <p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>   | A棟と共有                                       | ○                     | A棟と共有                          |
| 46  | <p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>                      | A棟と共有                                       |                       |                                |
| 47  | <p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>                                   | A棟と共有                                       |                       |                                |
| 48  | <p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p> | ホームDr、看護師から助言を頂きながら重度化終末期に向け今後に備えて検討を行っている  | ○                     | A棟と共有                          |
| 49  | <p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、本人及び家族に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>                      | 本人の意見や家族、主治医、移住先の施設関係者と情報交換を密にしダメージケアに努めている | ○                     | A棟と共有                          |

| 項 目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取組んでいき<br>たい項目)  | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                   |
|---|---|--|--|
| <p align="center"><b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p> <p><b>1.その人らしい暮らしの支援</b></p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p> |   |  |  |
| 50  | プライバシーの確保の徹底<br><br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない                                 | 入居者様を尊重しその時の状況に応じてさりげない言葉掛けで接している                                    |  |
| 51  | 利用者の希望の表出や自己決定の支援<br><br>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を「尊厳の保持」に配慮して行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている | 自己決定が出来る利用者様が少なくレク活動その他で個々の能力を引き出せるように継続的に支援している                     | <input type="radio"/> 何か出来ることはないか試行錯誤しながら対応したい   |
| 52  | 日々のその人らしい暮らし<br><br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している                   | 入居者様の希望を受け入れ個々にペースにあった支援提供に努めている                                     |  |
| 53  | 身だしなみやおしゃれの支援<br><br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている                              | 同じ服装にならないよう、洗濯物の入れ替えなどで工夫をしている また本人希望の理容院、美容室などを利用したり異動美容室などもお願いしている | <input type="radio"/> 環境の変化に敏感な利用者には訪問美容をお願いしている |
| 54  | 食事を楽しむことのできる支援<br><br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている                       | 盛りつけ、下ごしらえ等可能な限り行っている食材の話題等、季節感のある物や利用者様の会話を引き出し楽しく食事出来るように努めている     | <input type="radio"/> 山菜や野菜、果物の名前当てなど            |
| 55  | 本人の嗜好の支援<br><br>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している                              | 個々の嗜好を把握し(個々の健康状態にそって)飲み物等提供させて頂いている                                 | <input type="radio"/> 喫煙室を準備したが今まで利用者は無く物置として使用中 |

| 項 目                          |   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------|---|---|-----------------------|--------------------------------|
| 56                           | <p>気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう「尊厳の保持」に配慮して支援している</p> | <p>個々の排泄状況を把握し声かけしてトイレ誘導している 日中オムツ使用者はなく個々に応じてリハビリパンツ、尿取りパット使用また状況に応じてポータブルトイレを使用</p>   | ○                     | A棟と共有                          |
| 57                           | <p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>    | <p>入浴日はバイタルチェックを必ず行い健康状態に合わせて半身浴、シャワー浴も取り入れている声をかけ本人の希望に添って入浴して頂いている</p>                | ○                     | 希望者または汚染があった場合は随時対応している        |
| 58                           | <p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>                          | <p>夜間の徘徊などの時には水分補給や話し相手に成ったりしている眠剤はDrへ相談休息は声かけ希望に添って休めるように見守りしている</p>                   |                       |                                |
| (3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 |   |   |                       |                                |
| 59                           | <p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>       | <p>ホームの周辺散策、菜園の野菜の収穫レクでは手足の運動、ボール投げでは大きな声をかけあい野菜の下処理、誕生会では色紙のプレゼンターの役割を努めてもらったりしている</p> | ○                     | オールガンの演奏が出来る方もありお願いしている        |
| 60                           | <p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>       | <p>管理できる入居者は本人管理で出来ない方はホーム管理としている</p>   | ○                     | 外出時には小遣いを所持させている               |
| 61                           | <p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>                         | <p>買い物、ドライブ、戸外のベンチで日光浴等支援してる</p>  |                       |                                |

| 項 目            |  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)       | 印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)  |
|----------------|--|---------------------------------------|-----------------------|---------------------------------|
| 62             | 普段行けない場所への外出支援<br>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している        | 梨狩り、花見、外食等の個別での外出の支援をしている             | ○                     | 図書館、博物館、など                      |
| 63             | 電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている                                  | 手紙、電話のやり取りができる利用者にはプライバシーに配慮し支援してる    | ○                     | A棟と共有                           |
| 64             | 家族や馴染みの人の訪問支援<br>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している                   | プライバシーに配慮し自室でお茶をしながらゆっくりとした時間を過ごして頂く  |                       |                                 |
| (4)安心と安全を支える支援 |  |                                       |                       |                                 |
| 65             | 身体拘束をしないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 職員はマニュアルや研修受講で把握し常日頃からカンファレンスなので確認してる | ○                     | 必要に応じて本人及び家族の同意を得てる             |
| 66             | 鍵をかけないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに努めている                    | 夜間のみ玄関に保安上施錠する日中は解放している               | ○                     | 徘徊、帰宅願望者あり一時的に施錠する事がある(職員が手薄の時) |

| 項 目 |  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                           | 印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|-----|--|---|-----------------------|--------------------------------|
| 67  | <p>利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>              | <p>介護者一人ひとりが業務の内容をよく把握し申し送り等で状況を確認し実施している</p>             |                       |                                |
| 68  | <p>注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>        | <p>洗剤等は使用時のみ出して使用後は保管管理し、薬剤等も管理保管している</p>                 | ○                     | <p>薬剤は事務所に保管している</p>           |
| 69  | <p>事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>     | <p>転倒防止や誤薬に対してカンファレンスなどで話し合いをもち共有しながら活用している</p>           | ○                     | <p>火災については訓練を活用して</p>          |
| 70  | <p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の実践訓練を定期的に行っている</p>             | <p>救急救命講習を受講しマニュアルを作成対応している</p>                           | ○                     | <p>救急救命講習を予定している</p>           |
| 71  | <p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p> | <p>消防職員の指導の下避難訓練を行い地域にも啓発し訓練にも参加をお願い推進会議などで協力をお願いしている</p> | ○                     | <p>A棟と共有</p>                   |

| 項 目                       |  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                | 印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)  |
|---------------------------|--|--|-----------------------|---------------------------------|
| 72                        | リスク対応に関する家族等との話し合い<br>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている      | ケアプラン説明時や面会時に話し合うとともに状況の変化があった時も連絡を密にし本人、家族の希望を聞き職員間で共有し活用している |                       |                                 |
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 |  |  |                       |                                 |
| 73                        | 体調変化の早期発見と対応<br>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている                | 入居者様の心身状態に変化が出た場合には職員全員が情報を得よう申し送るとともに(Dr,看護師へ相談また管理者に報告する)    |                       |                                 |
| 74                        | 服薬支援<br>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解に努めており、医療関係者の活用や服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 処方された薬は目的を良く理解し職員間で確認を行い服薬支援している                               | ○                     | 臨時に処方された薬についても変化が見られる時にはDrに確認する |
| 75                        | 便秘の予防と対応<br>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる              | おやつ時にヨーグルトや牛乳などを摂取また食事の提供にも配慮している                              | ○                     | 便秘がは腹部マッサージなど行っている              |
| 76                        | 口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている                        | 食後の口腔ケアは一人ひとり見守りながら支援している                                      | ○                     | 義歯については週に一回薬剤にて洗浄している           |
| 77                        | 栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている     | 食事、水分の摂取量をチェックし調整している水分不足の時には随時、摂取支援に心がけている                    |                       |                                 |

| 項 目                           |   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                             | 印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------|---|---|-----------------------|--------------------------------|
| 78                            | 感染症予防<br><br>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）  | 保健所の出前講座の受講により意識向上に努めマニュアルに添って対応してる                         |                       |                                |
| 79                            | 食材の管理<br><br>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている   | 調理器具は使用前に消毒を行っている 冷蔵庫なども定期的に消毒清掃をしている（熱湯、酢、漂白剤など）           |                       |                                |
| <b>2.その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b> |   |   |                       |                                |
| (1)居心地のよい環境づくり                |   |   |                       |                                |
| 80                            | 安心して出入りできる玄関まわりの工夫<br><br>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている                                 | 冬場以外は玄関戸は解放し出入りは自由にして<br>いる、夜間のみ保安上施錠している玄関前にベン<br>チを設置してある | ○                     | A棟と共有                          |
| 81                            | 居心地のよい共用空間づくり<br><br>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や臭いや光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 常に換気に気をつけて窓の開閉また玄関には季節の花を生けてある                              | ○                     | すだれ等で日除けなども                    |
| 82                            | 共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br><br>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている                                 | ホールあるいは廊下のベンチなどで思いおもいに過ごせるように工夫している                         |                       |                                |



| 項 目                    |   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | 印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------|---|--|-----------------------|--------------------------------|
| 83                     | 居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 使い慣れた品物を持参して頂いたり、思い出の写真などを飾ったりして落ち着いて過ごせるように工夫している                     |                       |                                |
| 84                     | 換気・空調の配慮<br>気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている       | 換気には十分に気をつけ温度管理もこまめに調整し心地よく過ごせるようにしている                                 |                       | 換気扇、クーラーや床暖を使用                 |
| (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり |   |  |                       |                                |
| 85                     | 身体機能を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している                | バリアフリーの建物で各所に手摺りを配置し食堂やホールの椅子を身体機能に合わせ本人が使いやすい用に工夫している(肘掛けやキャスターの取り付け) | ○                     | トイレに密閉容器、ポイ捨てを使用               |
| 86                     | わかる力を活かした環境づくり<br>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している                          | 居室には表札や「のれん」の目印をかけトイレなど各所にもそれぞれに解りやすく工夫をしている                           | ○                     | 風呂には「ゆ」のれんを使用                  |
| 87                     | 建物の外周りや空間の活用<br>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている                                  | ホームには菜園や花壇があり花の手入れや野菜作り、収穫を楽しんでいる                                      |                       |                                |

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

| .サービスの成果に関する項目 |  |  |
|----------------|--|--|
| 項 目            |  | 取 り 組 み の 成 果<br>(該当する箇所を 印で囲むこと)                              |
| 88             | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる                      | ほぼ全ての利用者の<br>利用者の2/3くらいの<br>利用者の1/3くらいの<br>ほとんど掴んでいない          |
| 89             | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある                         | 毎日ある<br>数日に1回程度ある<br>たまにある<br>ほとんどない                           |
| 90             | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている                            | ほぼ全ての利用者が<br>利用者の2/3くらいが<br>利用者の1/3くらいが<br>ほとんどいない             |
| 91             | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている                 | ほぼ全ての利用者が<br>利用者の2/3くらいが<br>利用者の1/3くらいが<br>ほとんどいない             |
| 92             | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている                           | ○ ほぼ全ての利用者が<br>利用者の2/3くらいが<br>利用者の1/3くらいが<br>ほとんどいない 自己の要望確認困難 |
| 93             | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている                     | ほぼ全ての利用者が<br>利用者の2/3くらいが<br>利用者の1/3くらいが<br>ほとんどいない             |
| 94             | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている            | ほぼ全ての利用者が<br>利用者の2/3くらいが<br>利用者の1/3くらいが<br>ほとんどいない             |
| 95             | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ○ ほぼ全ての家族と<br>家族の2/3くらいと<br>家族の1/3くらいと<br>ほとんどできていない           |
| 96             | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている                 | ほぼ毎日のように<br>数日に1回程度<br>たまに<br>ほとんどない                           |

| 項 目 |   | 取 り 組 み の 成 果<br>( 該 当 す る 箇 所 を 印 で 囲 む こ と )        |
|-----|---|---|
| 97  | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | 大いに増えている<br>少しずつ増えている<br>あまり増えていない<br>全くいない           |
| 98  | 職員は、生き活きと働けている  | ほぼ全ての職員が<br>職員の2/3くらいが<br>職員の1/3くらいが<br>ほとんどいない       |
| 99  | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                           | ほぼ全ての利用者が<br>利用者の2/3くらいが<br>利用者の1/3くらいが<br>ほとんどいない    |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                       | ほぼ全ての家族等が<br>家族等の2/3くらいが<br>家族等の1/3くらいが<br>ほとんどできていない |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

ホームには菜園、花壇があり季節ごとに収穫し味わったり、利用者様の生活機能を生かし花を生けてもらい日々楽しんで頂いている。

家族や地域の人達が気軽に足を運んでもらえるホームを目指しています。

ご家族や利用者様の希望をかなえられるように支援努力している。

環境的にも静かな住宅街に位置し近くにはスーパーや温泉施設(くらら)道の駅天王、グリーンランドなどがあり居心地よく生活できる様に支援出来るように努めています。

また、常勤の栄養士、准看護師による栄養管理健康状況の確認、訪問看護、訪問診療により健康管理に努め看取りまで協議の上で相談に応じている。